

活用の仕方

この冊子は、7月30日（火）、31日（水）に行われた「前期 自己評価委員会」を通して、作成されたものです。

○学年団部会提案

2学期以降共通理解の上、継続して指導していきましょう。

○徳育部・知育部・体育部 各部会

各部からの具体的な手立てについて、全学年で共通して取り組んでいきましょう。

後期のアンケート調査は11月29日（金）です。教育目標、重点目標達成のため、学校全体で取り組みましょう。

今後の予定

9月9日（月） 第3回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

10月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

11月29日（金）児童、保護者、職員、学校運営協議会委員アンケート配信

12月 4日（水）児童アンケート回答締め切り（Google フォーム）

保護者、職員アンケート回答締め切り（さくら連絡網）

12月20日（金）までに全アンケート集計、資料作成・配付（教務）

1月 8日（水）までに、資料を各自で確認する。

1月 8日（水）教育課程全体会②の中で第2回自己評価委員会を行い、後期評価を考察する。

※資料を基に全体で考察を行い、来年度教育課程編成に生かす。

2月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

2月13日（木）第4回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

3月上旬 学校評価の結果報告→市教育委員会指導課

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

1、2年

やってみたいと考え、ともに動く子

成果

- 会社活動や係活動を通して、学級をよくするために積極的に動いている。
- ボランティアを積極的にしている。
- 子供のやってみたい活動（ぬり絵会社、絵本会社、生き物会社など）を、教師が支援している。

やさしい子

成果

- 教室の中ではあいさつができています。
- 帰りの会の中で、友達の良いところや頑張っているところを全体で共有している。
- 図工作品や生活科のワークシートが出来上がったら、できた子から黒板に貼り、鑑賞し、認め合っている。

課題

- あいさつ…子供と保護者の間にギャップがある。
- 教室の中ではできている。外でできないから保護者は分からない。家でもできていない？

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 挨拶の種類を増やす。あいさつカードを活用して1学期を振り返り、9月に重点的に取り組みたいあいさつを1つ決めて取り組む。月末に振り返る。

元気な子

成果

- 学級で決めた日に学級遊びを行い、全員で体を動かしている。

課題

- ①心の天気を生かしきれていない→落ち着いた生活に繋げたい。
- ②心の天気が保護者に浸透していない。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- ①「分かる」からもう一歩進めたい。学年団別重点目標をレベルアップする。（分かる→雨や雷のときはどのように過ごしたらいいかみんなで考えることができる。など）
- 月1回の「心の天気」の時間を活用し、雨や雷の時の過ごし方や対応の方法を先生が教えたり、みんなで考えたりする。

（どうして雨なのか、雨のときはどうしたらいいか、など）

②「心の天気」についてみんなで考えた・話し合ったことをブログにアップし、保護者に共有する。（クラスで話し合いなど）

進んで学習する子

成果

○進んで読書をしている。

課題

①目標設定…保護者の評価が低い。保護者は学校での活動を知らないことが多い。

②児童は聴いているつもりだが、保護者・教員の評価が低い。

→最後まで聴けていない。自分事として捉えていない。集中力が続かない。

課題改善に取り組む具体的な手立て

①学習の目標を明確にしながらブログで紹介していくことで、保護者に伝えていく。

②「聞く」とは何かもう一度指導する。ピアで学習したポイントを日頃から子供と共有する。出来ていたら称揚する。NHK for School を活用して話の聴き方を学ぶ。「うめういす」で子供達と聞くポイントを確認する。（うなずく・めをみて・ラストまで・いっしょけんめい・スマイル）悪い例・良い例を学び、自分事にしていく。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

3、4年

やさしい子

成果

○ありがとう、ごめんね、は言えるようになってきた。

課題

○自分から挨拶△（保護者からの評価）

○返事・反応△

課題改善に取り組む具体的な手立て

○朝の会で声を掛け、意識させる。

○月初めに、ブログで挨拶の様子を保護者に向けて発信する。

元気な子

成果

○昨年度に比べ、授業と休み時間のメリハリがつくようになってきた。

課題

○保健室利用△（不安になりやすい、心と体の傷に対する耐性の低さ）

課題改善に取り組む具体的な手立て

○2学期初めの朝の活動の時間に、保健室利用について各クラスで話し合い、その後養護教諭が指導する。

○保健室に行く前に、なぜ行くのかを担任と確認し合う場を設定する。

進んで学習する子

成果

○目標設定○

課題

○授業の振り返り、学習カードの振り返り△

課題改善に取り組む具体的な手立て

○振り返りの時間を設定する。

①思い（考え）をもてたか。 ②話し合いに参加できたか。 ③友達の意見を聞けたか。
の項目で、「A, B, C」で自己評価させ、ノートに書かせたり挙手させたりして振り返る。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

5、6年

やさしい子

成果

- 「やってみたい」と考え、ともに動く子の「ともに」の部分で、仲間と協力して活動できようになった。
- 行事での個々に「〇〇をやってみたい」思いが強く、応援団長への立候補者が多かったり、委員会での係の仕事を自分たちで創り上げたりする思いが高まった。
- 委員会のイベントを計画し、アイデアが豊富で、行動力が高い。

課題

- 互いの個性を認め合い、協力し合う。
- 縦割り活動の中で、活躍を認められたい思いが強い。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 清掃終了の反省会の中で、「先生からの一言」という項目を入れて、担当の先生からその日の活動の頑張っている姿を伝えてもらう。（できれば高学年中心に）リーダーとして頑張っている姿を認めていく。
- 縦割り遊びの最後に、担当の先生から6年生の良い表れを認めてもらう。
- 5年生は縦割り遊びなど6年生の活動の姿を見て、計画力や運営力など自分たちが学んだことを伝えていく。そうすると、お互い学び成長へとつながっていく。
- 林間学校や修学旅行を通して学んだこと（グループでの協力性や計画準備の重要性等）を、朝の活動の時間を活用し、6年生は5年生へ、5年生は6年生や4年生に伝える。

元気な子

成果

- 子供たちは、友達とのトラブルが減ってきたのは自分の心の状態が分かり、感覚で行動する子が減ってきた。また、周りを見て予見して行動に移すことができるようになってきた。
- 担任は、聞き取りウィークで全員と話したことで、一人一人の悩みや大きな悩みではないがちょっとした小話などができ、一人一人と親身に話すことができた。

課題

- あきらめずに運動する

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 2学期から縄跳びカードを活用し、継続して運動できるようにする。
- 体育科の単元終了時、学級対抗戦をする時間を作り、運動する楽しさや最後まで運動するよさを実感させる。また、学期末イベントでも運動イベントを計画する。その際、ト

ロフイーも活用する。

進んで学習する子

成果

- 学習意欲が高く、授業内での発言が多い。
- 聞こうとする意識は少しずつではあるが高まってきている。
- 家庭学習で、自分で計画を立てて学習することができるようになってきた。

課題

- 聞く・深める
- 話し方

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 「聞く姿」を意識させるために他学年の授業を見合う活動を取り入れる。授業を見た感想を伝え合うことで、良さを伝え合うことで「聞く」ことの意識が高まる。できれば1～4年生に見てもらいたい。
- つなげて発言する。「〇〇さんと同じで、～。」「〇〇さんと違って、～。」「話は変わるかもしれませんが、～。」そうすることで、聞くことの必要感を持たせる。
- 教師が決めた教科や単元で、子供がその1時間で学んだことや単元を通して学んだことを振り返る時間を取り、子供たちの考えを深める。また、その振り返りを共有する。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

知育部

成果

- めあてがはつきりすれば、目標をもって取り組むことができる子が増えた。
- 違っても良いので、やってみようとする子が増えた。

課題

- 「聞く」ために、教員も待てないところがある。また、教員の求める「聞く」と、児童の考えている「聞く」が違っているのではないか。
- 授業の振り返りがなかなかできていない。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 9月第1週のうちの朝の時間に「聞く」ということや「聞いて深める」について、どういう姿が良い姿なのかということを児童達と一緒にクラス毎で考え、聞くとはどういうことか、どんなことを頑張りたいかを話し合う。（聞くとは、深めるとは、については研修主任より提示する）9月初めの話し合いを生かし、授業の中で、聞き方で上手くできた子をその都度取り上げ、「聞く・聞き方」について考える時間を作り、褒めて広げていく。（子供同士が反応できるようにしていく）

- 反応をする練習を朝の時間に行う。

9／3（火）朝（ピアの後の、温かな雰囲気のに、短い時間で楽しく取り組む。）

例：あいうえおゲーム（どうですか→いいです。のような考えていない反応をなくしていく。生きた反応に変える。）

- 10月の第2週10月8日（火）に1・3・5年、
10月9日（水）に2・4・6年で

1つ上の学年の聞く姿を見に行き、良いところや真似できそうなところを話し合い、自分達の「聞き方」に生かす。

1組→1組、2組→2組に見に行く。

担任同士で相談し、「聞く」の様子が見られる15分程度を参観。

残りの時間は、学級で参観したことを話し合う。

- 各学年で2単元、振り返りの時間を決め振り返りを意識して授業を行う。

- 空き時間等に授業を積極的に見合い、技量アップを図る。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

徳育部

【成果】

＜挨拶・返事＞

○挨拶…低学年・高学年は子供も保護者も評価が高い。中学年は低い。

おそらく、登校班のときにリーダーの高学年、入学したての低学年の保護者は様子を見ていた。中学年の保護者は旗振りのときしか見ていないのでは？

○教室では挨拶をしている。

○子供自身は挨拶をしている意識がある。

＜個性尊重・協力＞

○友達のよさを見つけることのできる子供が多い。

【課題】

＜挨拶・返事＞

○地域の人に挨拶ができない。

○時の場に応じた挨拶ができない。声の大きさ等。

○挨拶に個人差がある。

＜個性尊重・協力＞

○友達のよさを見つけることはできるが、認め合っているかを見える化することが難しい。

【課題改善に取り組む具体的な手立て】

＜挨拶・返事＞

○4、9、2月の挨拶強化月間に「ポプラっ子あいさつ・返事カード」を活用し、その月に頑張りたい挨拶項目を意識させる。（教育計画P.31参照）

○「11日＝東小あいさつの日」を意識する。毎月10日（前日）に運営委員が「明日は東小あいさつの日です。友達や先生、地域の方たちに自分から進んであいさつをしましょう。」と放送を流して、アピールする。

《あいさつの日の前日》

9月10日（火）、10月10日（木）、11月8日（金）、12月10日（火）、
1月9日（木）、2月7日（金）、3月10日（月）

○運営委員会で話し合い、子供から意見を募る。

（例）11日のあいさつの日の当日に運営委員がお昼の放送でいろいろな挨拶について紹介する。

○9月、2月のあいさつ強化月間に「はままつマナー」を活用して、道徳主任が昼の放送で話をする。

○挨拶のたすきを学級に配付し、学級の実態に合わせて活用する。

（例）当番がたすきをかけて、朝や業間、昼休みなどに同じ階の廊下や教室を回って、挨拶をする。

＜個性尊重・協力＞

○「よいことみつけ」の仕方を工夫する。

（例）今日は〇〇さんの日、ひみつの友達、ありがとうBOX、メッセージカード等

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

体育部

◎成果

<心の天気、落ち着いた生活>

- ・低学年は、自分の心の天気を分かっている児童が多い。雨や雷のときの心の落ち着け方や生活の工夫についても学級で話ができるとよい。
- ・中学年は、以前に比べて心の成長が見られ、落ち着いてきたため、継続していきたい。
- ・今年度から月初めの水曜日に実施することを年間計画に位置付けている。昨年度より実施率は上がった。
- ・落ち着いた生活について、児童と職員の評価に差が大きい。

<運動>

- ・低学年は、子供たちと楽しく、遊ぶことができています。
- ・中学年では、友達のよさを認め合いながら、活動に取り組んでいる。

<給食／保健>

- ・中学年や高学年は、徐々に残食が減ってきた。
- ・昨年に比べて大きなケガは、減ってきている。

▽課題と☆手立て

<心の天気、落ち着いた生活>

▽心の天気アンケートの活用の仕方は各学級にお任せしているため、アンケートに回答するだけで終わっている学級もあり、フィードバックの仕方に課題がある。

▽心の天気アンケートの中で、「落ち着いた生活ができているか」の項目に対し、ほとんどの児童が「はい」と答えているが、教室やワークスペースで走っている児童も多い。学校評価においても、高学年のできていると回答した児童は 93.1%と高いが、高学年が走っていて下級生のお手本になっていない。

☆心の天気アンケートを実施する前に、アンケートの目的について児童に説明する。

※児童が自分の心の様子を見つめ、落ち着いた生活ができているか振り返る場として実施

☆3年生以上の心の天気アンケートにおいて、自分の生活を具体的に振り返り、落ち着いた生活ができているか評価できる項目を追加する。

※ワークスペースや階段では右側を歩いていますか？教室では歩いて過ごしていますか？

☆落ち着いた生活がどのような生活なのか、心の天気アンケートの実施前に担任が具体的に話をしたり、アンケート内に示したりして児童の理解を促す。

落ち着いた生活とは、学校内でけがをしないで生活すること。そのために、心の天気が晴れの状態（うれしい、楽しい、心が落ち着いている等）を保ち、廊下やワークスペース、教室で走ったり、飛び出したりしない、寝転がって遊ばない等の行動を目指す。

＜運動＞

▽勝ち負けがあることになると、負けた時に相手チームやチームメイトを責める児童がいる。勝敗にこだわり執着する児童が多い。

☆行事や体育の際、児童のよい発言や行動（相手チームをたたえる言動、お互いをねぎらう言動等）を取り上げて紹介し、ともに活動できる楽しさや喜びを分かち合えるようにする。

☆授業ごと・単元ごとに振り返りカードを活用し、個々の目標を記入したり、自チームや相手チームの良さ・課題等を書いたりして、次時へつなげていく。また、その振り返りカードをもとに、個々の思考面での見取りを行い、評価や指導につなげて、運動することの意欲を高める声掛けをしていく。

☆集団競技の際は、単元前半では意図的チームを作成し、チームとしての課題やその課題解決に向けて個々の技能を習得していく。単元終盤では、今までに意図的チームで学んだことをもとに、個々の楽しみ方に応じて活動に取り組む。

（例：技能重視のガッツリチーム、楽しさを感じたいチーム、のんびり楽しみたいチーム等）

▽スポーツ大会のリレーの在り方について、保護者の理解が得られていない現状がある。

☆スポーツ大会は、見つめる力と関わる力に目標にして種目を精選している。見つめる力の徒競走と関わる力の学年団種目である。保護者への説明が足りなかった。来年度の種目についても、精選の理由等を学校だよりやホームページを通じて発信していく。